

## 受診 診察で使う器具はこんな

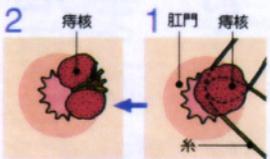


「吸角」で痔の脱出を再現する  
透明の吸盤部分を肛門にあって、肛門内に戻っている痔核を脱出させてみて、痔核の状態を詳しくみる。



「肛門鏡」で肛門の中をみる  
問診、視診、指診のあと、肛門鏡で肛門を広げ、肛門の中をみる。必要があれば、カメラ付き直腸鏡で直腸をみる。

## 治療 痔核、裂肛の処置&手術



### 日帰り手術(分離結さつ術)

糸で痔核、裂肛を結び、自然に壊死脱落させる方法。局所麻酔で行う。手術当日から排便や入浴が可能だが、術後2週間は痛むため、痛み止めを使用。痔が壊死して糸とともに取れるのは術後2~3週間。完治には約60日程度必要。



### 薬による治療

痛み、出血、腫れをとる薬。右がロケット状の坐薬。とがったほうから肛門の奥に入れる。中央と左が注入軟膏。肛門にチューブの先端をつけ注入する。

希望すれば  
日帰り手術も可能  
希望すれば日帰り手術も可能。関西では関東だけではありません。関西でも肛門科だけを扱う専門病院で、週2回レディースデー(女性専用日)を設けて診察にあたっている肛門科の女性医師がいます。大阪肛門病院の佐々木みのり医師は、「レディースデーを始めて10年目ですが、女性患者さんは年々増えていて、この病院の患者さんの70%は女性です」と話します。

活の改善と下剤や浣腸による便秘解消、痛み、出血、腫れをとる薬で症状はかなり軽減で  
みのり医師も診察から治療、手術まで担当するため、すべて女性医師による診療が可能です。もちろん、痔のほとんどは薬による治療が中心。みのり医師が診察する年間約900人の女性の初診患者のうち、手術するのは年約50人、わずか5~6%程度です。「痔」手術ではありません。食生活の改善と下剤や浣腸による便秘解消、痛み、出血、腫れをとる薬で症状はかなり軽減で



この病院の治療の特徴のひとつは、日帰り手術。一般的な手術の結さつ切除術(5泊6日入院)も行いますが、手術を希望する人のうち70~80%は日帰り手術(左図、分離結さつ術)を選ぶそう。入院手術のほうが術後の痛みは少ないのだそうですが、女性は痔の手術で入院すると言って仕事を休みにくいとの理由もあるのだとか。「痔の手術をするか、しないかは患者さんが決めること。決して無理強いはいしません。手術を恐れて受診しないなんでもったいないです。早めに受診してください」

## 治療 2 関西で唯一 肛門だけを専門に 治療する 女性外来



週2回女性外来で診療を続ける 佐々木みのり 医師

## Data File

大阪肛門病院 副院長 肛門科医  
佐々木みのり 医師  
ささき みのり

1994年、大阪医科大学卒業。大阪大学医学部皮膚科入局。その後、肛門科に変更し、'98年、大阪肛門病院に勤務し現職。日本大腸肛門病学会会員。

### 大阪肛門病院

http://www.osakakomon.com  
大阪府大阪市中央区釣鐘町2-1-15 ☎06-6941-0919 佐々木みのり医師の診察(レディースデー) / 月18



時~19時30分、水9時~11時30分、13時~16時30分(すべて女性専用の肛門科外来で初診のみ完全予約制。再診は予約なし) その他の診察(みのり医師の夫、佐々木副院長が担当) / 月、火、木、金、土9時~11時30分、木18時~19時30分(女性専用ではないが土のみみのり医師も診察) 診療内容 / 初診約7500円~1万円、再診約3500円、結さつ切除術5~6日入院約33万円、分離結さつ術(日帰り)約28万円(保険不可、すべて自由診療)

## 気になる病気を募集します

●連載「人には聞けない、気になる病気」では、毎月女性の気になる病気を取り上げ、名医から最新の検査&治療法を取材します。次号は「生理不順・無月経」の予定です。今、気になる病気、詳しく知りたい病気を教えてください。

①氏名②住所③電話番号④生年月日⑤職業⑥気になる病気・その理由、を簡単にはがきか封書に書いて、以下の宛先にお寄せください。〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 小学館Domani編集部「気になる病気」係

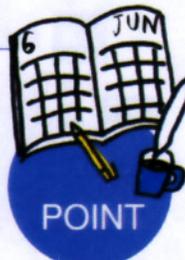
●お送りいただいた個人情報はこの連載記事に関するご連絡を始め、記事制作に必要な範囲で利用し、その他の目的では利用いたしません。

## 「メディカルDomani

### 女性ための病気&名医バイブル

#### 好評発売中!

「ぜひ1冊にまとめて!」との読者のリクエストにお応えて本誌連載「名医バイブル」(05年1月号~06年9月号)が「メディカルDomani」(小社刊 ¥1,000)として1冊に! ドマニ世代が気をつけたい病気やトラブルの名医79人と、最新の検査、治療法をイラストと写真でわかりやすく紹介しています。



30代、働く女性が痔にかかったら?

30代になったら1回は 大腸内視鏡検査をおすすめします  
今回の取材で私は、大腸内視鏡検査を受けることを決意しました! 日本人の食生活が変わり、肉類や脂肪の摂取量が増え、30代にも大腸ポリープや大腸がんが増加しています。便の検査で便潜血がある人はもちろん、痔で出血がある、便秘と下痢をくり返す、便が細くなった、おなか張る、家族に大腸がんの人がいる場合などは、積極的に大腸内視鏡検査を受けてください。できれば30代になったら1回は、そして40代になったら2年に1回が目安。大腸がんは早期発見すればほぼ100%治ります。痔をいい機会に大腸がん検査を受けましょう!